

村長の日記

5月1日（月）

5月連休の前半が過ぎ、5月3日から5連休が始まる。

4月29日～30日の連休前半は天候が晴れ、例年菜種梅雨と言われて雨が多いのだが、この連休は5日頃雨らしいが、あとはすべて晴れの日が続く。連休前半は晴れて、金剛登山の人出が多かった。千早は登山基地なのだが、どこの駐車場も朝9時頃には満杯状況。天候の良い日の金剛登山駐車場は、登山者がなかなか山から降りてこない。あと10日もすれば葛城山のつつじで金剛山は暇になる。梅雨で天候が悪くなれば登山者は来ない。

今年の来客の特徴は、産経新聞で「公を忘れた日本人」のテーマで楠木正成公を取り上げていただいたおかげで、日本100名城に選ばれている千早城のスタンプを押しに来る人が多い。多い日には200人からの人が来る、やはりマスコミの力はすごい。産経新聞は1年にわたり楠公さんを取り上げて解説してくれた。産経新聞に感謝。

私は3月に明治神宮で行われた大楠公パネルディスカッションのパネラーで、少しだけ楠木正成公について話をさせていただいた。楠公さんはまだ日本の英雄と思っている人たちがたくさんいることを感じた。第2次大戦まで、楠公さんは戦争推進の英雄、自己犠牲の手本、玉砕の鏡として描かれたこともあり、終戦後は楠公さん受難の時代が続いた。昨年4月より「公を忘れた日本人」のテーマで産経新聞が楠公さんの再評価と、彼の人となり、行動、思想を連載されるようになり、改めて楠公さんが認識されるようになった。

現在、楠公ファンは高齢者が多いと思われるが、彼の生活、政治家としての手腕、経営者としての能力を知れば、若い人たちも楠公ファンになるはずだ。若い歴女がたくさん現れれば、村も元気づく。

5月2日（火）

4月末に決定されることになっていた日本遺産では、楠木正成選定の線は無くなった。大阪府下では大阪市、堺市、松原市、羽曳野市、太子町がエントリーした竹之内街道が日本遺産として認定されることになった。地域発展に大きな力を発揮すると思う。

竹之内街道は日本で1番古い国道と言われている。現在道路改良がおこなわれ、多くの部分で昔の面影が無いが、葛城市の1部。太子町の1部、堺市の1部では昔の国道がかく在ったのだと思える面影が残っている。昔、椎茸生産をやっているとき、堺にある南部合青果市場へ行く途中、竹之内街道を通ったことがある。狭い曲がりくねった道が竹之内街道、昔の国道だ。昔は車社会ではなく徒歩で通った道だし、人の移動も今ほど激しくなかったもので、これでよかったのだ。あまり手を掛けずに昔の面影を保存してほしい。

村長の日記

5月 連休後半

5月3日~7日の5連休は、金剛山にたくさんの人が押し寄せた連休でした。3日は金剛山錬成会の表彰式があり、例年多くの人が押し寄せる。今年は数日前にNHKで金剛山の放映があり、加えて登山日和の天候、千早地区中が車であふれた1日だった。当日山に登った錬成会の会員には弁当の配布があるので、11時の配布が始まるまで下山してこない。11時30分を過ぎる頃から、ちらほら弁当を持った人が下りてくる。その人たちは表彰を貰うわけでもなく、当日登山できない人の弁当引換券を持って行って、何個も弁当を持って降りてくるまで駐車場は混雑したまま。弁当目的だけの人には早く弁当を配布すれば、駐車場が空く。早く弁当を配布して早く駐車場を開けてもらえば登山者の回転も良くなるだろう。

今年の登山者は例年と比較して、少しずつ出費が多くなってきたと思われる。わたしの息子は豆腐を作って売るとともに、豆腐料理をサービスしているが、例年はうどん、そばが売り上げの大半だった。しかし、今年は豆富御膳が多くなったし、BBQやステーキが良く出ている。豆乳の売り上げも昨年よりは多かった。例年豆乳は売切れる事はあまり無かったが、今年は多く作っても午前中に売れてしまうこともあった。これもテレビの影響と思われる。料理に豆乳を使うのは健康に良く、健康志向の現れだ。

千早では駐車料を1日1回600円としているところがほとんどだ。まつまさの駐車場も1日1回600円だが、連休中は1000円にした。登山者で駐車場が埋まってしまうと、食事に来た人が駐車できなくなってしまう。

まつまさの駐車場は進入路が狭く登り勾配がきつい、車が集中すると通行できなくなる。まつまさより奥に駐車場は無く、駐車場のキャパシティは80台。だが、連休中は午前9時半には満杯になってしまった。1000円にすれば少しは減り、食事の人も駐車できるだろうとの思いだったが、満車になって、結局食事の人も断る事になってしまった。連休中は長男が府道との交差点で入ってくる車を止める作業の繰り返しになってしまった。

金剛山に登る人も大切だが、ふらっと訪れる人を集めるのも大切。そのためには金剛登山がカッコイイことにならなければいけない。山ガールがカッコよく登れば、若い男性も増える。

5月8日（月）

憲法記念日の表彰式（大阪国際会議場）

朝早く出発するので早く役所へ。7時30分頃家を出る予定だったが、役所到着は8時10分過ぎ、既に議長は出発した後。いつも議長と同

村長の日記

じ車で行くのだが、今日は議長と私の所用が違うので別に行くことになっている。

今日の松原線は異常に空いていたので、1時間丁度で会議場到着。今日は町村長会代表で駐車場はVIP扱い。集合時間までまだ時間があるのでコーヒーショップへ行ったところ、議長がいる。旨そうなケーキを食べているので、適当にコーヒーとケーキを注文したところ、パンの上にソフトクリームが乗っている。ソフトクリームを食べてもまだパンが残っている、ボリュームのあるスイーツだ。

控室へ行くと市長会会長の八尾市田中市長が現れ、今度の市長会で会長交代との事。長い間ご苦労さんでした。

田中市長会会長のおかげで市長会、町村長会、町村議長会の改革がかなり進んだ。田中会長に感謝。

今日5月8日は千早赤阪村議会議員の任期最終日。井上議長は大阪府町村議長会会長として最後の公務であるとともに、村議会議員としての最後の日となった。村で町村議長会会長、町村長会会長が揃う事は、これからほとんどないと思う。記念にランチをおごろうと思ったが、反対におごってもらった。長い間助けてもらったお礼とともに、ランチありがとうございました。

憲法記念日表彰では、浅野議員(彼も議員の最終日)が代表受賞、森林関係では井関淳一さんが受賞、農業関係では木ノ本さんが受賞された。

村にとって意義深い1日だった。

5月9日(火)

読売新聞に「続日本100名城 府内3件」。城郭研究者やファンが選んだ「続日本100名城」に、秀吉と関係が深い岸和田城、戦国武将三好長慶ゆかりの芥川山城(高槻市)、飯盛城(大東、四條畷両市)が入った。との記事があった。

日本100名城は公益財団法人日本城郭協会が提案、2006年に大阪府からは大阪城、千早城が選ばれた。日本城郭協会は2007年から100名城全てを回ると認定証を発行するスタンプラリー開始。これまで1400人が全城制覇をやり遂げた。

千早城では城址に千早神社があるが無人のため、麓の「まつまさ」にスタンプを置き、スタンプラリーの利便を図っている。初めのうちスタンプラリー参加者は少なかったが、徐々に増えてきた。

100名城の全てを見てやろうと思い立ち、2010年100名城制覇のスタンプラリーをやり始めた。メンバーは私、嫁、友達夫婦、嫁の友達2人の6人。最初は近場の大阪城、高取城、姫路城、二条城、和歌山城、彦根城から始めたが、100名城は全国にまたがっている。北は北海道東端の根室半島チャシ跡群から南は沖縄県の首里城まで。四国、九州、東北と回るうちに、四国88カ所巡礼と同じで、必ず全部まわろう、1つ抜けてもいかん!という事になり、足掛け5年で100名城を踏破した。

村長の日記

沖縄は安い団体ツアーに便乗したり、北海道では根室→函館→松前 600 キロを飛行機も使って回った。最後に残った東北は、東北新幹線を使って福島、山形、宮城、秋田、岩手、青森と乗り継いで、桜満開の弘前城でゴール、100名城を制覇した。

5年の歳月とかなりの費用を使って日本中を回った経験から、

1. 日本は広い。
2. 交通網は全て東京中心に構成されている。
3. 日本はリッチでしかも平和。

と、わかった。

私は大阪から回ったが、東京の人がこのスタンプラリーを行えば費用で20~30%は安くあがる。しかも、時間もかなり短く済むと思う。

地方と東京の差は確実に開いており、その差は徐々に広がりつつある。日本もドイツと同じような地方経済圏を作り、地域地域で完結できるようにすれば良いと思うが、道州制がいいのか？

先日、岐阜県垂井町で町長に頂いた東海環状自動車道の地図を見た時、中京圏域は1つの経済圏を形成しつつあると感じた。地盤沈下を起こした大阪は徐々に昔の繁栄から田舎になりつつある。現在非常に貧相な大阪府交通インフラの飛躍的な充実を図り、今一度大阪を中心とした関西圏のリフトアップ計画を実行するときだ。京奈和自動車道が中京圏へのゲートウェイとして工場の集積が始まっているようでは駄目だ。

大阪でも京都でも奈良でも和歌山でもいいので、今一度関西の核を作り、関西をNo.1に！！。

5月12日（金）

議長選出議会

4月に新しく選出された議員による、役員選出議会。

10:00

新議長選出にあたり仮議長選出。最高齢者の山形議員が仮議長となり、議長指名で田中議員が議長となる。

議会役員は以下の通り。

村長の日記

議長：田中博治 副議長：関口ほずみ 監査委員：山形研介

派遣議員

南河内環境事業組合議会議員 山形研介

大阪府広域水道企業団議会議員 関口ほずみ

総務民政常任委員会(所管：総務課 人事財政課 住民課 健康福祉課 広域福祉課 ほか)

委員長：山形研介 副委員長：千福清英 委員：井上浩一 田中博治 関口ほずみ

文教建設常任委員会(所管：教育委員会 まちづくり課 施設整備課 広域街造り課 農業委員会)

委員長：関口ほずみ 副委員長：藤浦稔 委員：田村陽 田中博治 山形研介

議会運営委員会(議長の諮問機関)

委員長：関口ほずみ 副委員長：千福清英 委員：井上浩一 山形研介 藤浦稔

国民健康保険運営協議会委員

藤浦稔 田村陽

都市計画審議会委員

関口ほずみ 千福清英 田村陽

学校給食センター運営委員

関口ほずみ 千福清英

広報編集委員会

委員長：山形研介 副委員長：田村陽 委員：千福清英 井上浩一

会派構成

平成会 会長：山形研介 田中博治 藤浦稔 千福清英 田村陽

公明党：井上浩一

共産党：関口ほずみ

村長の日記

5月役選出議会閉会挨拶

平成29年度、千早赤阪村議会は新しい議長以下役員選出が全て終わり、新しい体制が揃いました。誠におめでとうございます。

平成29年度千早赤阪村は、色々な課題がございますが、まず庁舎建設を控えております。既に庁舎は現状で建て替えと決まっております。現庁舎は50年間村を支えてくれました。新しい庁舎は、近い将来発生すると予想されている南海トラフ大地震を控え、村の安心・安全に対応するものでなければなりません。また50年、100年先の村の形を、行政の形を先取りしたものでなければなりません。未来志向を取り入れた庁舎を、また、職員が気持ち良く仕事ができる空間が必要です。近い将来、村が過疎から脱却して力強く発展するのにふさわしい庁舎を作り上げたいと思います。ぜひ皆さんに協力をお願いいたします。

村は今、人口減少、少子高齢化の波にもまれ、日本中の東京以外の市町村と同じ悩みを抱えております。空き家対策、子育て支援、移住対策、村営住宅、企業誘致、商業施設の誘致、観光客誘致、色々な施策がありますが、各市町村の話聞いた所、これがベストという方法がありません。私たちの小さな財政力でも可能な過疎からの脱却法は何か、職員、議員の皆さんはもちろん、住民をも巻き込んだ過疎からの脱却を目指します。議員皆さんのご提案、ご協力をお願いし、新しい議員の皆さんへの挨拶といたします。

5月13日（土）

10:00

戦没者慰霊祭（千早赤阪村遺族会主催 いきいきサロン）

来賓に議員多数来場、厳粛なムードで行われた。千早赤阪村の英霊は168柱。今回は34回目の慰霊祭に当たる。前々回までは各地の護国神社を巡り慰霊祭を行っていた。一昨年、護国神社を回るのを止めることになり、最後の参拝として新幹線を利用し靖国神社へお参りし、後は村で慰霊祭を行うことになった。全員で約40人ほど集まった。慰霊祭は戦争で亡くなった人たちを慰霊するとともに、2度と戦争はやらない、参加しない誓いをする儀式だと思う。だが、近くの共産主義国が核武装、大陸間弾道弾のテストを行っている。これを止めさせる方法が無いだろうか。

5月14日（日）

天気予報では本日快晴。朝8時より長男から「今日は車が多い」。朝食をとり終わったころ“まつまさ”の駐車場は満杯。例年だと今頃は

村長の日記

葛城山のつつじの影響を受け、金剛登山客が少ないはず。お客さんに聞くと、昨日民放 TV で金剛山の放映があったらしい。定期的に金剛登山をする人は 2 時間前後で下山するが、今日は違う。子ども連れが多いと車の滞留が多くなる。11 時、一時車の流入が止まったが、またすぐ増加した。駐車場が落ち着いたのは 13 時過ぎ、その頃からレストランの客が増え、昼食をとれたのは 15 時過ぎだった。葛城山のつつじより、民放の放映が人気だとわかった日曜日だった。

15:00

二剛会総会

25 名が集まる。50 回踏破、70 回のメダル認定証を授与。その後、懇親会。例年のことだが、若いメンバーが二剛会に入ってくれない。現メンバーは 1 年に 1 つずつ歳を取って行く。しかし、皆さんは歳を取っても元気なメンバー、金剛山の本道整備は順調に進んでいる。約 5 年で麓から頂上まで整備が終わる。しかし、5 年も経過するとまた麓が痛んでくる。また新しく整備の必要が出てくる。新しいメンバーが出てきて、また続けてほしい

5 月 15 日 (月)

11:00 過ぎ

役所出発、新大阪へ。13 時過ぎの新幹線で小倉へ行く。村へ進出予定の DIY ショップへ早期進出のお願い。数年前からぜひ村へ来てほしいとのラブコールを継続していた。本社を訪問して、村への早期開店のお願い。

新大阪駅ナカで昼食のラーメンをかき込んで乗車。駅ナカラーメンは中々うまい。特に私の注文した九条ねぎラーメンは大量のカットねぎがトッピングしてある。ごはん茶碗 1 杯分はあるねぎに味付けがしてあるし、ねぎだけを食べても旨い。昔は駅ナカのメシ屋は今ひとつと言われていたが、最近の駅ナカ食堂は捨てたもんじゃない。

新幹線に乗り窓の外を見てみると、新神戸、姫路、広島、うとうとしている間に小倉、時間を感じない。小倉の駅を降りて、訪問先は歩いてすぐ。駅の中までモノレールが入っており、新幹線からモノレールへの乗り換えはすぐ。小倉の街はすごい。特徴の 1 つは、若い人たちが非常に多い。時間帯にもよるだろうが、若い女性が目についた。小倉は経済がしっかりしているようだ、駅の回りを歩いているだけでも、飲食店の客単価がかなり高めの店が多い。大阪のミナミより街並みが良い。この調子では、大阪は小倉にも負けそうだ。

約 40 分、1 日も早い出店をお願いし小倉を後にした。新幹線を利用すると、九州も近くの町の感覚だ。何度でもお願いに来よう。

村長の日記

5月16日（火）

大阪府町村長会総会

現在島本町退任により、副会長は忠岡町和田町長一人となっている。

14:00

開会。

大阪府の説明その1、

人口減少、少子高齢化の現在、府下市町村は現状のままでいいのか。10年先、20年先の状況を考え、府下市町村の連携、協力を考えよう。その前にまず勉強会を。

千早赤阪村は国より過疎指定を受けている、人口減が原因だ。果たして人口減を止め、人口増に持って行けるか不可能という意見が多いが、人口増に村を持って行かないと村の存在価値はなくなる。勉強会で良い解が出るだろうか、やってみないとわからない。

村は平成の大合併の時、富田林市、河内長野市との合併にトライしたが成就しなかった。原因の1つは住民、議会、行政にとって安心して相手にお任せできない状況だった。また相手の住民、行政、議会にとっても、足手まといになる、発展の妨げになる 他、ネガティブな問題があり、なかなかGOサインが出せなかった。

いつかは府下全てが中核市になり、山間地でも安心して生活が出来る大阪を作る勉強会、大いに話し合い、元気な大阪を作って欲しい。

説明その2

当面の課題は来年に迫った万国博覧会の都市決定。今年4月、松井知事も参加してパリに本部のあるBIEで、万国博開催都市のエントリーをした。大阪はオリンピック開催都市で北京に負けている、今回はぜひ大阪を万博開催都市にしたい、絶対負けることはできない。

東京は2回目のオリンピック。小池知事の決断力の無さでなかなか前へ進まないが、やはり日本の国家プロジェクト、どうにか開催できるだろう。もし大阪が負けると、大阪はまた負けたと国内的に評価を大きく下げる。地盤沈下の止まらない大阪が元気になるには、万国博開催都市になれるかどうかにかかっている。私たちにできることは小さいとは思いますが、オリンピックの二の舞にならないように、できることはやろう。

大阪府町村長会役員選挙

町村長会 会長 千早赤阪村松本村長 副会長 忠岡町和田町長 豊能町池田町長

村長の日記

従来、大阪府町村長会は会長の任期規定はなかった。奈良県は1期2年、和歌山県は2期4年となっている。大阪府も会長規定を作って、全国にも影響力のある町村長会となる。

5月22日（月）

富田林商工会総会・懇談会

総会の後、来賓として招待を頂き、懇談会が始まった。

最初に、金谷会長が旭日小受章を授章されたと披露があった。なかなか旭日章を受章される人は少ない、今年も南河内では彼一人だろう。富田林商工会会長はもちろんだが、大阪府商工会連合会長としての彼の功績が認められた。誠におめでとうございます。

富田林、河南、太子、千早赤阪を束ねる商工会はなかなか産業が育たない。千早赤阪にはコンビニが無い。産業としては林業がメインだったが現在は見る影もない。あとは木材価格の上昇を待つだけだ。従来の価格と比較して杉の価格が10分の1、桧が5分の1、山に立っている樹木はほぼ0円、林業の植林→撫育→伐採(60年~100年)のサイクルが回らない。

富田林市を見ると、エコーロゼのイオン、ニトリ、コノミヤ、ミドリ電化、大きな全国チェーンの物販業ばかり。昔からあった小売りの商店はほとんど無い。市民の消費は全国企業に吸い上げられる状況となっている。今の時代、地域の消費をすべて地域で賄うのは無理だが、可能な限り地域の消費を地域で回せる方策はない物か。

地域の消費をすべて全国ネット企業に吸い上げられては、地域の活力が無くなる。1次産業が残るとの考え方もあるのだが、今では農産物の価格形成から流通まですべて全国ネット企業に持って行かれる。地域の消費の可能な限り多くの部分を地域に残す方策を、商工会も考え、実践してほしい。

5月23日（火）

大阪府町村長会メンバーと自民党二階幹事長との昼食会

今日はテロ法案衆議院採決の日。忙しい日程にもかかわらず、7町1村の首長が集合し、二階幹事長、林幹事長代行(千葉県選出衆議院議員)に参加していただき、日比谷の松本楼で始まった。

大阪は1970年黒田知事以降、府立高校の新設に力を入れ、道路(交通インフラ)の充実にはあまり注力してこなかった。千早赤阪村も昭

村長の日記

和40年以降、府道富田林五条線のトンネル掘削計画があり、村を挙げて期待していたが計画だけ。富田林五条線は災害復旧工事だけで、50年間何ひとつ変わっていない。富田林五条線は当時府道として良い道路だったが、現在では50年経過し、バスの離合不可能なところもあり、旧式な道路となった。路側の樹木が大きく成長し、枝が道路をふさぐ状況になっている。国道168号線、五条 - 新宮間があと数年で全線改良される。紀州、新宮から五条へ出てきた車が水越峠の309号線に回るか、又は橋本まで行って河内長野へ出るか、とにかく新宮から来た道路の意味が無い。奈良県によって、富田林五条線に繋がるはずの道は金剛の東側山麓まで4車線で完成している。約5キロのトンネルを掘削していただき、河内、大和、紀州の大動脈にしたい。20年、30年先の村を考える時、必ず必要なトンネルだ。

5月26日（金）

「楠木正成考 ゆかりの地から見る大楠公・小楠公」シンポジウム(産経新聞主催 河内長野ラブリーホール)

私は3月 明治神宮、4月 ラジオ大阪、今回と、3回 楠木正成(なんこうさん)の話をさせていただいた。私は楠公さんの話を聞いたり読んだり学んだりするときに、一大疑問がある。「大楠公はなぜ湊川へ死を覚悟で赴いたのか」「どうして後醍醐天皇がGOサインを出したのか」。何人かの楠公さんのプロと称する人たちに聞いた。この話はタブー、話題にするなど言われた。

楠公さんを考えた時、私はどうして後醍醐天皇が楠公さんを召し出したのかを考えた。河内の一豪族が、朝廷まで聞こえるほどの有名な豪族だったとするのが妥当だ。当時からはほぼ1000人の戦闘要員を抱えていたことから考える正成さんは、財政的にかなり裕福だったと考える。彼が裕福な理由は、高野街道の守護職であり通行料収入がかなりあったからだ。

浪速→大和の物流を彼は差配していた。

当時、浪速→奈良、大和への物流は、本来大和川で行うのが本筋だが、柏原の少し東に亀の瀬の急流があり船が遡上できない。岸の津(現在の富田林市喜志のあたり)で浪速からの荷を下ろし、竹之内街道、平石峠を通じて奈良盆地への物流を確保していた。楠公は物流を確保することにより、情報と富を握っていた。

千早城へ攻めてくる鎌倉幕府軍勢の動きは瞬時に把握していた。敵の兵站妨害はお手の物、補給物資の不足で戦意は上がらず、楠公軍はわずか800人の手勢で、12万の幕府軍を100日間翻弄し続けた。

700年前でも既に、情報を握ったものが有利に状況を操作できることを、我々の祖先は教えてくれた。情報を大切に村造りに使っていく。

村長の日記

5月28日（日）

昼

小吹台地区福祉委員会

小吹台地区福祉委員会は第24会定期総会。会長の挨拶で「少子高齢化が進み小吹台の65歳以上の高齢化率は50%を超えた。」千早地区は今54%で村内No.1「後期高齢者の私は千早地区ではまだ中堅、まだまだ頑張ってください。」

福祉委員会は機関誌「おてだま」を発行、しっかり活動している。皆さんの活動に感謝し、途中で退席。

和泉市市長選挙告示

14時過ぎに役所へ。所用を済まし、15時30分役所発。

和泉市長候補 辻さんの事務所へ。辻市長3回目の選挙。彼の仕事ぶりが良いので、今回は無投票。30分前に事務所に着いたが、奥さんが「まだ30分あります、気が気ではありません。」私も何回か選挙をしたが、奥さんの気持ちがよくわかる。

17時5分過ぎ、辻さんの選挙カーが事務所着、全員拍手で出迎える。これから4年間、良い和泉市を作ってください。

松原市長選挙

21:30

松原市澤井市長の事務所着。高石市長、貝塚市長、富田林市長、大阪狭山市長、河内長野市長、岬町長、忠岡町長、河南町長、国会議員、府議会議員、市議会議員、町議会議員、沢山の皆さんが和泉市と同じように集まっている。22時過ぎ澤井市長当選で万歳。

5月29日（月）

大阪府振興協会来庁

大阪府市町村振興協会は、府下各自治体へ必要資金の融資を行うのが1番の仕事。現在融資金の金利が0.01%、非常に安い金利で融資をしている関係上協会の運営経費が少なく、将来協会運営が非常に厳しくなる。

宝くじの剰余金(サマージャンボ・オータムジャンボ)を各自治体へ配分するのも協会の仕事。近年宝くじの売り上げが低下傾向にあり、配分金を増やすために宝くじの売り上げを増やすことで村への配分金が増える。宝くじを買って7億円を当てよう。

村長の日記

村人権協会総会

人権問題は、わが国でも村でも沢山ある。虐待、部落差別、高齢化による問題、男女差別 等、種々の問題が表面化している。最近 SNSなどで発信される差別事象も大きな問題だ。皆さんの力で、1つでも差別事象が無くなるようにお願いしたい。

生活に余裕が出来る则ち気持ちの余裕が出来る。生活が豊かになり余裕が出来る则ち、周囲に対する気配りが出来る。村が豊かになり人権が尊重される村造りには、豊かなゆとりある村が必要。

午後

自衛隊陸将補 梅田氏 来庁

東日本大震災時、自衛隊の活躍を現地で見せてもらった。熊本の復興支援も報道の通り。スーダンの PKO も無事終結した。アフリカで PKO を事故なく終わらせた自衛隊はすごい。日本には核爆弾とミサイルの脅威が迫っている。自衛隊の存在が今ほど必要な時は無い。

本日、自衛官募集相談員に新しく貝原さんが就任していただいた。ご息が高等学校から自衛官の学校へ入り、現在自衛隊で活躍中。ぜひ元気な自衛官を一人でも多く。

5月31日（水）

浪速中学・高等学校訪問

学園に着き、3人の先生にお迎えいただいた。学内にあるレストランに案内され「理事長が帰って来るまでお食事を」。

6階にある生徒、先生、父兄が利用できる食堂と言うよりレストラン。レストラン内にはベーカリーがあり、焼き立てパンが並んでいる。今回村の教育委員をお願いする先生に村の事情をお話しし、教育委員として新しい教育の方向性等を教えていただくことになった。今、私立高校が生徒不足で困っているとき、確実に生徒数を伸ばしている浪速の話だけを聞けるだけでも、村の学校行政にとって良い事だと思う。村立学校園に新しいトレンドを注入してほしい。